

UCS C シリーズ サーバの CIMC の設定

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ネットワーク図](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[CIMC 入門](#)

[初期設定](#)

[KVM の機能](#)

[ケーブル接続](#)

[KVM の電源投入](#)

[KVM 起動ビュー](#)

[F8 \(CIMC IP の設定/表示 \)](#)

[CIMC へのアクセス](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このサポート ドキュメントは、UCS C シリーズ サーバの CIMC ネットワーク接続をセットアップする手順の概要を説明します。

前提条件

要件

シスコでは次を推奨しています。

- Cisco UCS C シリーズ サーバ ブレードのソフトウェアおよびハードウェアの管理に関する実務知識があること。
- UCS C シリーズ サーバの Cisco Integrated Management Controller に精通していること。
- このドキュメントで説明されているさまざまなコマンドの影響と意味を理解していること。
- UCS C シリーズのコンポーネントとトポロジに精通していること。

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、Cisco UCS C シリーズ サーバのシステムに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

[ネットワーク図](#)

現在のところ、使用可能な固有のネットワーク図はありません。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[背景説明](#)

現在のところ、特定の背景情報はありません。

[CIMC 入門](#)

[初期設定](#)

UCS C シリーズ サーバの CIMC ネットワーク接続のセットアップ手順の概要です。

[KVM の機能](#)

KVM 機能の概要：

1. Cisco C シリーズ ラック サーバの前面パネルには、Cisco 提供の dongle コネクタによって、USB キーボード、ビデオ モニタ、および USB マウスのための 1 つの物理ローカル ビデオ接続と 2 つの USB 接続が可能です。
2. すべてのラック サーバでは前面パネルまたは背面パネルのローカル接続の他に、最大 4 つのアクティブな KVM over IP セッションが可能です。アクティブなセッションはコンソールを完全に制御します。
3. KVM over IP ではグラフィカル コントローラのテキスト モードとグラフィック モードがサポートされており、データを表示するために手動で設定を行う必要はありません。
4. サポートされているグラフィック モードは、最大で 1600 x 1200 (16 ビット カラー) のビデオチップに対応可能です。
5. Linux での KVM セッションは、Linux ディストリビューションによってはマウス設定が必要な場合があります。
6. KVM の応答が遅い場合は、ネットワーク帯域幅遅延などのさまざまな要因が考えられます。カラー深度と解像度を下げると、応答が改善されることがあります。
7. リモート KVM は、ビデオの内容をそのまま表示します。これは「シリアル端末」ビューではなく、ピクセル単位の描画です。
8. セッションを記録する場合は、ローカル クライアントで webex やその他のスクリーン キャプチャ アプリケーションなどのユーティリティを使用できます。

9. キーストロークをテキストとして記録する場合は、SOL (Serial Over Lan) 機能と端末プログラムを使用してテキストをキャプチャします。

ケーブル接続

C シリーズ サーバのケーブル接続 :

1. C200 フロントパネル:C200 背面パネル : C200 サーバの接続 :
2. C210 フロントパネル:C210 背面パネル:C210 サーバのための接続:
3. C250 前面パネルC250 背面パネル:C250 サーバのための接続:

KVM の電源投入

サーバの電源を入れるには、次の手順を実行します。

1. シャーシに電源コードを差し込みます。注: CIMC はシステム スタンバイ (Power Off モード) を初期化します。CIMC がアクティブであり、IP アドレスが判明していれば GUI または CLI から CIMC を制御できます。
2. 前面パネルの電源ボタンを押します。ファンが回転し始めます。次に POST シーケンスが開始されます。この時点でブートアップするか、またはインストール プロセスを開始できます。メモリが大きい場合、モデルによってはブランク画面が数分間表示されることがある点に注意してください。C-250 : 電源スイッチを即時に押すと、CIMC 初期化が中断されます。ファンの回転が遅くなり、インジケータが黄色になることがあります。この状況が発生した場合はしばらく待ってから電源ボタンをもう一度押してください。

KVM 起動ビュー

サーバのブートアップ中に Quiet モードで BIOS と Cisco スプラッシュ画面にアクセスできます。

- POST を表示するには ESC を押します。
- システムのブートが開始されたら、F2 を押して BIOS 設定画面を表示します。この手順を実行するには、モニタとキーボードが直接接続している物理 KVM またはローカル/リモート KVM が必要です。シャーシがブートしたら F2 を押してこの画面を表示します。
- ブート デバイスを手動で選択するには F6 を押します。
- ネットワーク ブートを実行するには F12 を押します。

F8 (CIMC IP の設定/表示)

BIOS が表示されているときに、CIMC IP アドレスの設定とパスワードのリセットを行うには F8 を押します。

1. DHCP または静的設定のいずれかを選択します。
2. 必要に応じて VLAN タグを入力します。
3. CIMC パスワードを入力します。
4. IP を変更するかまたは DHCP を有効にした後で設定した IP を確認するには、F5 を押します。
5. F10 を押して設定を保存します。

CIMC へのアクセス

次の手順を実行します。

1. POST およびオプション ROM 構成はブートの間に処理します表示する。
2. 表示されるオプション ROM の設定画面を以下に示します。LSIHBA/CNA (インストールされている場合) 追加 NICLOM
3. Web ブラウザで設定した CIMC IP アドレスを指定します。デフォルトのユーザ名 :
adminデフォルト パスワード : password
4. [Admin] > [Network Settings] を選択し、**設定を確認**します。
5. DHCP に戻すには、GUI の [Admin] タブで [Network] を選択し、[IPv4 Properties] で [Use DHCP] ボックスにチェックマークを付けます。シャーシをリブートします。
6. DHCP サーバをモニタし、IP が MAC に割り当てられることを確認します。次に新しい IP サーバを指定します。CIMC にログインしたら、ネットワーク設定を確認できます。

確認

確認については上記のサブセクションを参照してください。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)